

日本地衣学会

No.61

ニュースレター

Newsletter from the Japanese Society for Lichenology

目次	会務報告	215
	第3回秋田ワークショップ報告／山本好和	215
	会員通信	217
	京都山裾地衣類巡行③／山本好和	217

会務報告 Report of the JSL Activities

第3回秋田ワークショップ報告

Report of the 3rd Akita Workshop of JSL

山本好和：秋田ワークショップ世話人

恒例になった秋田ワークショップの第3回が2005年8月26日(金)から31日(水)まで秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科の学生実験室で開催された。スケジュール概要は、26日に初級編講義(講師山本, 受講者11名)、27日に第16回青空地衣教室「森吉山」(参加者13名)、28日は培養実験編(講師山本, 受講者12名)、29日は分析実験編(講師山本, 受講者15名)、30、31日は遺伝子実験編(講師原氏, 受講者11名)。参加者は、鹿児島から宮本氏、大阪から成田氏・竹村氏、山形から手代木氏、田邊氏、秋田から庄司氏・菅原氏と秋田県立大学学生8名の以上15名(講師を除く)であった。宮本氏と田邊氏は昨年に引き続いての参加である。

ワークショップは、昨年の吉村会長に代わり、私の初級講義から始まった。原稿は昨年通りでパワーポイントによる講義(図1)と後半は顕微結晶法や呈色法など主に顕微鏡を用いた観察実験が行われた。参加者のほとんどは地衣類の実質的な解説を聞くのは初めてのことであった。夜には、別室で昨年同様懇親会がもたれた。

図1. 初級編講義の一コマ。

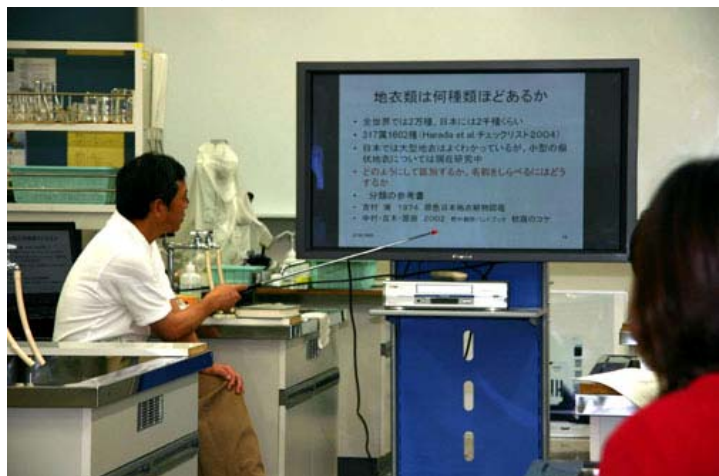




図2. 森吉山青空教室の一コマ

2 日目は森吉山での青空教室である。森吉山は第 2 回学会観察会が開催された場所である。自家用車に分乗して秋田市内を出発、昼前に森吉山妖精の森に到着、ブナ林を巡り、前日の勉強の成果を確かめ合った(図2)。

3 日目は培養編、12 名の参加者は 4 班に分かれて、午前中は孢子放出発芽実験、午後は組織培養実験を行い、クリーンベンチを使用した無菌操作に取り組んだ。

4 日目は分析編、15 名の参加者は午前中、地衣成分抽出操作と薄層クロマトグラフィー (TLC)、午後、高速液体クロマトグラフィー(フォトダイオードアレイ付きの HPLC) 分析に取り組んだ。

5、6 日目は遺伝子編、11 名の参加者は、数十ミリ

グラム在地衣体から遺伝子の本体である DNA を抽出し、PCR 法によって 2 つの遺伝子領域をそれぞれ増幅し、電気泳動で増幅産物を解析した。

ワークショップで用いたテキストは入手希望者にお送りしますので、筆者あてご連絡下さい。

* * *

昨年同様 6 日間の長丁場でしたが無事に終了しました。ただ、ちょうど大きな学会と重なり宿泊場所の確保に苦労したようです。2006 年は国際菌学会のため 8 月中旬に開催を予定しています。興味がありましたら是非ご参加をお願いします。

「京都山裾地衣類巡幸③」報告

Report of “Looking for lichens round mountain base of Kyoto”

山本好和：秋田県立大学

京都は周辺の山裾に寺院や神社など名所・旧跡がならび交通にも便利であるし、地衣類の生育も豊富である。そこで山裾にある名所・旧跡を巡りながら京都を一周し地衣類を探す旅を思い付き、「京都山裾地衣類巡幸」と名付け、著者が主宰する「地衣類ネットワーク」の観察会として、2005年1月3日初詣を兼ねて東山南禅寺を起点に開始した。南禅寺から哲学の道を巡り、銀閣寺まで第1回では哲学の道沿いのサクラの木にシラチャウメノキゴケが群生しているのを発見した。次いで3月19日には銀閣寺から一乗寺下り松、詩仙堂まで第2回を開催。銀閣寺では雑踏の中、庭園で蘚苔類と混生するコフキツメゴケを発見した。それぞれ12名と3名の参加者があり、名所と地衣類の双方を楽しむことができ

た。

第3回は12月29日に開催され、関西大学学生4名を含む6名が参加し、叡山電車一乗寺駅から宮本武蔵の決闘で名高い一乗寺下り松、庭園で有名な詩仙堂を経て曼殊院、赤山禅院、叡山電車三宅八幡駅までを歩き、地衣類を観察した。詩仙堂や曼殊院では静かな庭園のたたくみに年末の慌ただしさを忘れ、赤山禅院では門松のおもしろさ(図1)を楽しんだ。

第4回は3月26日(日)三宅八幡から岩倉実相院を予定している。参加希望の方は、著者までご連絡下さい。

コースは東の南禅寺から反時計回りに以下を考えている。南禅寺～哲学の道～銀閣寺～詩仙堂～曼殊院～三宅八幡～



図1. 門松に中途半端の長さの苔松がひもで結ばれていた。



図2. 行程 (太い点線で示す。原図では赤の点線)

実相院～円通寺～上賀茂社～鷹ヶ峯～金閣寺～仁和寺～広沢池～大覚寺～嵐山公園～松尾大社～花の寺～長岡天神～石清水八幡～平等院～万福寺～醍醐寺～東福寺～清水寺～円山公園～南禅寺。今までの歩いた行程を図2に示す。

今回目視確認できた地衣類は以下の通りである。

- Candelaria concolor* (Dicks.) Stein ロウソクゴケ
- Canoparmelia aptata* (Kremp.) Elix & Hale シラチャウメノキゴケ
- Cladonia humilis* (With.) J.R.Laundon ヒメジョウゴケ
- Cladonia macilentata* Hoffm. コアカミゴケ
- Cladonia ramulosa* (With.) J.R.Laundon ヒメレンゲゴケ
- Collema subflaccidum* Degel. トゲカワホリゴケ
- Flavoparmelia caperata* (L.) Hale キウメノキゴケ
- Graphis tenella* Ach. ホソモジゴケ
- Hypotrachyna pseudosinuosa* (Asah.) Hale タカハシウメノキゴケ
- Menegazzia terebrata* (Hoffm.) A.Massal. センシゴケ
- Myelochroa leucotyliza* (Nyl.) Elix & Hale ヒカゲウメノキゴケ
- Ochrolechia parellula* (Müll.Arg.) Zahlbr. イワニクイボゴケ
- Parmelinopsis hoesscens* (Vain.) Elix & Hale トゲウメノキゴケモドキ
- Parmotrema austrosinense* (Zahlbr.) Hale ナミガタウメノキゴケ
- Parmotrema tinctorum* (Nyl.) Hale ウメノキゴケ
- Peltigera praetextata* (Flörke ex Sommerf.) Zopf. チチレツメゴケ
- Peltigera pruinosa* (Gyeln.) Inumaru コフキツメゴケ
- Pertusaria flavicans* Lamy モエギトリハダゴケ
- Phaeophyscia limbata* (Poelt) Kashiw. クロウラムカデゴケ
- Porpidia albocaerulescens* (Wulfen) Hertel & Knoph ヘルトリゴケ
- Punctelia rudecta* (Ach.) Krog トゲハクテンゴケ
- Rimelia clavulifera* (Räsänen) Kurok. マツゲゴケ

●複製される方へ

本誌に掲載された著作物を複製したい方は、許諾を受けてください。詳細は本誌42号148ページに。

●Notice about photocopying

In order to photocopy any work from this publication, you or your organization must obtain permission. For details, see No. 42, p. 148 of this publication.

日本地衣学会ニュースレター 61号

発行日：2006年 2月 6日

編集：原田浩・岡本達哉・木下靖浩・棚橋孝雄

発行者・発行所：日本地衣学会

〒010-0195 秋田市下新城野

秋田県立大学生物資源科学部生物生産科学科内